キャンパスガイド
2025年度版

地域連携・社会貢献活動

清心コラボ（学部学科横断的な社会連携活動）

地域連携・SDGs推進センターが中心になり、全ての学生が地域連携・社会貢献活動に参加できる取組を行っています。学年や学部・学科に関係なく参加できる取組は全国的にも珍しく、連携先は岡山市、総社市、山陽新聞社、天満屋グループ、JAF岡山、商店街、国連大学など多種多様です。学生発案のアイデアや企画も実現でき、地域連携・社会貢献の基礎を学ぶ「国連SDGs入門」という全学共通科目とも連動しています。

女子学生の目線を生かした新しいトートバッグとおにぎりの開発

2023年6月から開始された株式会社天満屋との連携では、＜女性・若年の客層にアピールする新商品をノートルダム清心女子大学の学生と共に企画したい＞という依頼を受け、5学科1～3年生8名が雑貨系と食品系に分かれて活動を行っています。
半年間、月2回の企画会議に参加し、経営・経済、商品開発の基礎も学びながら、学生発案の新しいトートバッグとおにぎりの企画開発を進めています。

市役所インターンシップと政策提言

2023年2月から総社市との連携が開始。2023年度は夏季休暇中の1週間、全学科の1～3年生22名が総社市役所の各部署でインターンシップを行いました。成果報告会では、学生から市長に対して、駅前の活性化案や障害者・高齢者支援策の提案、農業と若者をマッチングする取組など、さまざまな提言がなされ、高く評価されました。この他にも総社市のキャラクターであるチュッピーの衣裳デザインの提案・制作活動やそうじゃ吉備路マラソンへの大学ボランティア参加など、多様な活動を通して連携を深めています。

“おしゃれ”と“安全”の両立を目指す

自転車ヘルメット着用率UPのための取組

2023年4月から開始されたJAF（日本自動車連盟）岡山支部との連携では、＜自転車ヘルメット着用率をUPする方策をノートルダム清心女子大学の学生と共に考えて実施したい＞という依頼に、3学科の2～4年生の5名が取り組んでいます。斬新な取組として注目されているのは、ヘルメットを脱いだ後も影響の少ないヘアデザインを考案するもので、JAFの女性職員や美容院の協力を得て、専用のヘアカタログも作成しました。
この後、清心女子高等学校の協力も得て、その効果測定に進んでいきます。

NDSU 清心コラボ Report 2023/12

清心生なら 学年・学科問わず誰でも参加できます！

女子サッカーチーム
岡山湯郷ベルとの連携事業

スポーツや地域活性化に関心のある方に

倉敷駅前商店街との連携事業（清心共催・出店企画運営）

祭・商店街活性化に関心のある方に

JAF岡山との連携事業

社会を支える公的な仕事に関心のある方に

消費者ネットおかやまとの連携事業

地域連携・SDGs推進センター
産学連携センター

(株)天満屋との商品開発事業

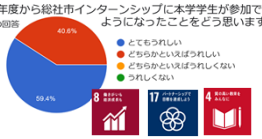
ビジネス・商品開発に関心のある方に

・その他にも岡山市、和気町、早島町、山陽新聞、JA岡山、ｲﾝﾀｰｷｯｽﾞとの協定。環境省中四国事務所（日生地域）や京山ESD推進協議会（地域自然環境）などとの連携活動

公務員や地域・政策に関心のある方に

総社市との連携事業

⇒裏面のPick UPをご覧ください



国連大学・12大学との連携事業：「国連SDGs入門」修了証も

SDGs、国際協力、大学連携に関心のある方に

Twitter(X)

地域連携・SDGs推進センター／産学連携センター では学科・学年に関わらず、すべての清心生が参加・企画できるさまざまな連携事業・取り組みを実施しています。
Twitter(X)、初心者向け相談コーナー、学生職員によるLINE Open Chat相談も。

お問い合わせ先：**地域連携・SDGs推進センター**（nrs@post.ndsu.ac.jp）